

みずほCustomer Desk Report 2022/07/07号(As of 2022/07/06)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	135.71 AUD/USD
TKY 9:00AM	135.58	1.0257	139.01	1.1950	0.6795
SYD-NY High	136.01	1.0277	139.42	1.1990	0.6825
SYD-NY Low	134.95	1.0162	137.31	1.1877	0.6762
NY 5:00 PM	135.90	1.0183	138.38	1.1922	0.6783

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,037.68	69.86	日本2年債	▲0.0700%	▲0.0100%
NASDAQ	11,361.85	39.61	日本10年債	0.2400%	0.0200%
S&P	3,845.08	13.69	米国2年債	2.9937%	0.1732%
日経平均	26,107.65	▲ 315.82	米国5年債	2.9789%	0.1561%
TOPIX	1,855.97	▲ 23.15	米国10年債	2.9326%	0.1154%
シカゴ日経先物	26,300.00	10.00	独10年債	1.1550%	▲0.0290%
ロンドンFT	7,107.77	82.30	英10年債	2.0915%	0.0435%
DAX	12,594.52	193.32	豪10年債	3.4290%	▲0.1800%
ハンセン指数	21,586.66	▲ 266.41	USDJPY 1M Vol	13.05%	▲0.15%
上海総合	3,355.35	▲ 48.68	USDJPY 3M Vol	12.48%	▲0.11%
NY金	1,736.50	▲ 27.40	USDJPY 6M Vol	11.88%	▲0.19%
WTI	98.53	▲ 0.97	USDJPY 1M 25RR	▲1.67%	Yen Call Over
CRB指数	276.13	▲ 2.03	EURJPY 3M Vol	14.12%	0.32%
ドルインデックス	107.10	0.56	EURJPY 6M Vol	13.62%	0.29%

東京	東京時間のドル円は135.58レベルでオープン後、仲値にかけて135.76まで上昇するも一巡後は欧米のリセッションリスクを警戒し日経平均が下げ幅を拡大する動きにドル円も135円前半まで下落する展開。135円ちょうど付近では押し目買いも入り底堅さを見せるも、新規材料に乏しい中135円前半で小動きし、135.27レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は135.27レベルでオープンし、手掛かり材料難で動意薄く推移。約50銭のレンジで買いと売りが交錯し、135.24レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では特にユーロが対ドル、円で売られる動きにドル円は値動きを挟まれ、135.30付近での推移が続き135.24レベルでNYオープン。朝方はクロス円の売りに134.95まで下落するが、米6月サービス業PMI(確報値)が予想を上回ったことから135.40まで上昇し、続いて発表された米6月ISM非製造業景況指数が、新規受注が鈍化傾向になっていて、雇用も低下傾向にあり、サプライチェーンの問題が指摘される等、今後警戒される内容ではあるものの、ヘッドラインは55.3と予想54.0を上回り、先週金曜のISM製造業景況指数が予想を下回っていたことからドル買いが強まり、136.01まで急伸する。その後はFOMC議事録発表を午後に控え、135.70付近での推移が続く。FOMC議事録では、インフレ定着の高いリスクをメンバー多数が認識等、予想通りタカ派な内容でややドル買いが強まり再び136.00まで戻し、終盤に掛けては狭いレンジでの推移が続き135.90レベルでクローズした。一方、海外市場のユーロドルは引き続き上値の重い展開は続き、1.02を割り込み、1.0193レベルでNYオープン。朝方は1.0167まで下落するがショートカバーから1.0201まで戻す。しかしISM非製造業景況指数結果を受けたドル買いに1.0162まで下落する。午後は1.02手前での狭いレンジでの推移が続き、1.0183レベルでクローズした。

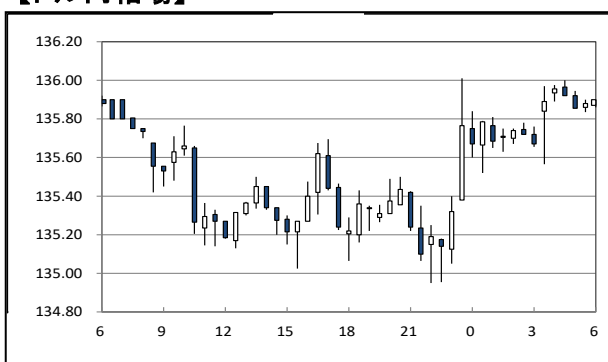
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月6日	15:00	独 製造業受注(前月比)	5月 0.1%	-0.5%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	5月 0.2%	0.4%
	22:45	米 サービス業PMI・確報	6月 52.7	51.6
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	6月 55.3	54.0

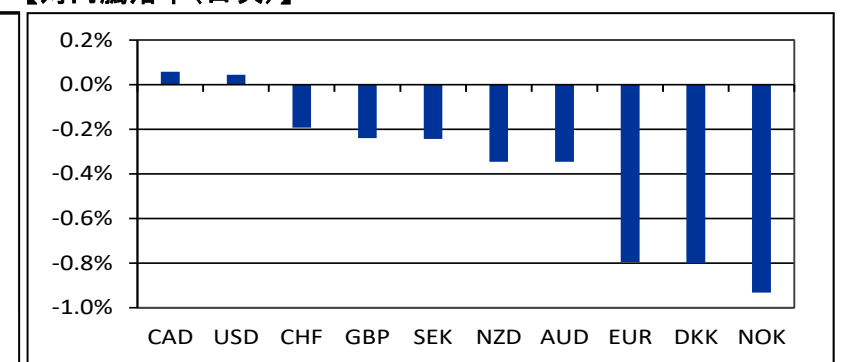
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月7日	10:30	豪 貿易収支	5月 A\$10825m	A\$10495m
	14:00	日 景気一致指数・速報	5月 95.5	96.8
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	5月 0.4%	0.7%
	20:30	欧 ECB議事要旨	-	-
	21:30	米 貿易収支	5月 -\$84.7b	-\$87.1b
	21:30	米 新規失業保険申請件数	2-Jul 230k	231k
7月8日	02:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.00-136.50	1.0100-1.0300	137.50-139.20

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、135円近辺を下値に、海外時間で136.01まで上伸が見られるボラタイルな展開。アジア時間135.58レベルでオープン後、欧州を中心とした世界的な景気減速への懸念からリスクオフの円買い優勢となり、欧州時間にかけては軟調に推移。米国時間で米6月ISM非製造業指数の予想を上回る結果にサポートされ、ドル円は136.01まで急伸。その後も底堅く推移し、結局135.90レベルでクローズ。本日のドル円は堅調推移を予想する。昨日発表された米経済指標の良好な結果と、FOMC議事録におけるタカ派的な内容を受け、ドル円買い優勢の流れが継続するだろう。また本日はウォラーFRB理事、米セントルイス連銀ブラード総裁等要人発言を控えており、FRBの政策運営の行方を見極めるうえでも、こちらの内容にも注目しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・小林